

《教養科目》

科目名	実用英語				
担当者氏名	ロス マシュー デビド ケシー				
授業方法	演習	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能			

《授業の概要》

幼児教育者を目指す学生にとって、園での職場と実践に関する英語のトピックスを理解することは将来の仕事に大いに役立つでしょう。年々、日本社会は多様化をしており、さまざまな背景を持つ保護者と子供達が増加しつつあります。英語は、そのような人々とのコミュニケーションできる共通言語です。本講義は、幼児教育の現場で必要となる実践的英語を学修します。

《テキスト》

その都度印刷して配布します。

《参考図書》

その都度指示します。

《授業の到達目標》

- (1) 教室に関連するアイテムとアクションを英語で認識する
- (2) 通常発生しうる園児間のトラブルとその解決に園して使用する英語を学修する
- (3) ある場所から別の場所へ行き方を指示する英語を学修する
- (4) 基本的な英語を使って病気の症状や徴候を伝える英語を学修する
- (5) 保護者と育児に関する基本的な会話をできるようにする

《授業時間外学習》

- (1) 学生は毎日最低15分英語を勉強することが望ましい。
- (2) 日記を書くこともいい方法である。
- (3) 英検を受験して熟達度を測る。
- (4) 一時間程度の宿題が出される。

《成績評価の方法》

70%プレゼンテーション
15%出席と参加態度
5%初回試験
10%期末試験

《課題に対するフィードバック等》

毎回の提出課題にコメントしフィードバックします。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	指導方針、学び方	(授業内容) ガイダンス、授業の受け方、英語の学び方、英語での自己紹介 (時間外学習) 英語での自己紹介を書いてくる。
2	Getting to know new people 1	(授業内容) 英語で自己紹介を考える (時間外学習) プレゼンテーションの準備
3	Getting to know new people 2	(授業内容) 自己紹介を英語で発表する (時間外学習) 保育用品のVocabularyを覚えてくる
4	Tools and supplies 1	(授業内容) 保育用品名前を覚える (時間外学習) プレゼンテーションの準備
5	Tools and supplies 2	(授業内容) 保育用品の名前を使ったプレゼンテーションを行う。 (時間外学習) 園外保育で使う用語を覚えてくる
6	Field trips 1	(授業内容) 園外保育の英語 (時間外学習) プレゼンテーションの準備
7	Field trips 2	(授業内容) 園外教育の英語をプレゼンテーションする (時間外学習) トラブル解決のVocabularyを覚えてくる
8	Conflict resolution 1	(授業内容) トラブルが起きた時の英語 (時間外学習) プレゼンテーションの準備
9	Conflict resolution 2	(授業内容) トラブルを解決する時の英語 (時間外学習) 園への行き方と園内を案内する英語に使用するVocabularyを覚えてくる
10	Directions 1	(授業内容) 園への行き方と園内を案内する英語 (時間外学習) プレゼンテーションの準備
11	Directions 2	(授業内容) 園への行き方と園内を案内する英語のプレゼンテーション (時間外学習) けがと病気のVocabularyを覚えてくる
12	Illness and injury 1	(授業内容) けがと病気 (時間外学習) プレゼンテーションの準備
13	Illness and injury 2	(授業内容) けがと病気のプレゼンテーション (時間外学習) 保護者対応のVocabularyを覚えてくる
14	Advising parents 1	(授業内容) 保護者対応 (時間外学習) プレゼンテーションの準備・リフレクションペーパーのガイダンス
15	Advising parents 2	(授業内容) 保護者対応のプレゼンテーション (時間外学習) リフレクションペーパーの提出

《教養科目》

科目名	海外研修				
担当者氏名	大野 博之、馬場 和久、専任教員				
授業方法	演習	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 教養 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性			

《授業の概要》

計画した日程に従って現地での実習を中心に学修していく。1年次に履修した「日本文化と国際理解」で学び、身につけたことを実践の場で確かなものとする。また、国際社会の中で信頼される「人」となるために、我が国の伝統や歴史、文化等を学び異文化を理解しながら、専門職者としての自己を確立していく。授業は主体的で対話的な学習スタイルを重視する。

《授業の到達目標》

集団行動のルールとマナーを理解し実践する。集団行動を通して、「One for all, all for one」の精神を身につける。ホームステイにおいて英語でコミュニケーションがとれる。シドニー大学、マッコーリー大学、バンクーバーアイランド大学、台北城市科技大学等での研修に参加しその内容を説明できる。訪問先施設での専門職の実践について説明できる。

《成績評価の方法》

研修に対する意欲・態度・行動の状況 70%、ノート 30%により評価する。

《テキスト》

大野誠「敦照のこころ」現代書林、1995
その他、必要な資料は授業で配布

《参考図書》

鷲見由理「ホームステイに役立つ英会話100」ナツメ社、2003

《授業時間外学習》

授業前にはテキストをよく読んでおくこと。
授業後にはメモに基づきノートを作成すること。
毎時間ごと、1時間程度の復習やまとめ、課題に取り組む。

《課題に対するフィードバック等》

「振り返りシート」やノート等の記録をその都度評価し、フィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	海外研修の目的や意義：学長	海外研修の目的や意義について理解を深める。 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
2	研修中の行動ルールやマナー(1)：引率者等	研修中の行動やマナーについて、自ら考え理解し身につける(1) 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
3	研修中の行動ルールやマナー(2)：引率者等	研修中の行動やマナーについて、自ら考え理解し身につける(2) 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
4	研修中の行動ルールやマナー(3)：引率者等	研修中の行動やマナーについて、自ら考え理解し身につける(3) 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
5	現地での言葉や用語：引率者等	研修先での言葉や用語等について学修し、理解を深める。 時間外学修 現地での言葉について学修しておく。
6	現地研修に係る諸課題：引率者等	現地で起こりうる様々な事態を想定し、話し合いながらまとめ、発表する。 時間外学修 現地で想定されるケースについてまとめる。
7	現地研修に対する心構え：学長	目標をふまえた行動計画や言葉によるコミュニケーション、本学の教育方針等 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
8	異文化の理解(1)	研修先の幼児教育や食文化、歴史、伝統、環境等について理解を深める。(1) 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
9	異文化の理解(2)	研修先の幼児教育や食文化、歴史、伝統、環境等について理解を深める。(2) 時間外学修 授業で学修した内容をノートに整理しまとめる。
10	研修先での施設等の見学：引率者等	研修先での専門職業の実践について理解を深める。 時間外学修 研修内容をノートに整理しまとめる。
11	提携先での研修(1)：引率者等	シドニー大学、マッコーリー大学、バンクーバーアイランド大学、台北城市科技大学における研修の内容について理解を深める(1) 時間外学修 研修内容をまとめる。
12	提携先での研修(2)：引率者等	シドニー大学、マッコーリー大学、バンクーバーアイランド大学、台北城市科技大学における研修の内容について理解を深める(2) 時間外学修 研修内容をまとめる。
13	研修後のまとめ：引率者等	現地研修の内容や成果についてまとめ、発表用の資料を作成する。 時間外学修 現地研修のまとめをしておく。
14	研修のまとめの発表：引率者等	現地研修での内容や成果について発表する。 時間外学修 現地研修の発表の準備をしておく。
15	研修の成果と課題：引率者等	現地研修から学んだことや今後の課題について 時間外学修 研修のまとめを完成させておく。

《教養科目》

科目名	埼玉学				
担当者氏名	武内 道郎				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力			

《授業の概要》

埼玉県の歴史や風土と、その中で育まれた人や食文化等に焦点を当て、郷土埼玉を理解することで、本学で学ぶことの価値を共有し、保育者や食の専門職として地域で活躍することの意義を学ぶ。最新の県内のニュースや集めた豆知識を共有し、郷土の良さ、強みを理解すると共に、持続可能な社会（SDGs）に向けた埼玉県の未来を考える力を培う。

《授業の到達目標》

- ・埼玉県の文化、自然等を学び、理解し、説明できる。
 - ・埼玉県が輩出した「人」に焦点を当て、地域社会づくりや男女共同参画社会実現での役割を説明できる。
 - ・埼玉の食文化 - 県内各地伝承の郷土料理を学び、その成り立ちや文化を理解し、説明することができる。
- 以上の学びを通し、埼玉県の未来について、SDGsの実現を踏まえ考え、実践する能力を培う。

《成績評価の方法》

授業中に課す小レポート60%、最終レポート40%で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

《テキスト》

適宜プリントを配布する。

《参考図書》

『埼玉のトリセツ』2020年7月、昭文社
 県民学研究会(編)『思わず人に話したくなる埼玉学』2013年2月、洋泉社
 渋沢栄一著・守屋淳訳『現代語訳論語と算盤』2010年2月、ちくま新書

《授業時間外学習》

授業前：次回のテーマについて文献等で調べ学習する。皆に知ってほしい埼玉の豆知識を各自で調べる。
 授業後：授業で配布された資料等を読み込み理解を深める。
 最終レポート：出身市町村の歴史や特色、課題等を自己学習によって調査し資料を作成する。
 (本授業では29時間の時間外学習が必要です。)

《課題に対するフィードバック等》

レポートについては、内容を確認し、講評などでフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	県の基本情報	県の基本情報、県のシンボル、歴史、地形等について学ぶ。県民性(グループ協議)。 [時間外学習]埼玉の自然、歴史、風土等について調べておくこと。
2	県のスポーツ、芸術文化	自然災害、スポーツ、文化、文学、芸術等について。埼玉の自慢(グループ協議)。 [時間外学習]埼玉の自然、文化、芸術等について調べておくこと。
3	自分の地元を知ろう	出身市町村を学ぶ意義。(例)加須市 自分の出身市町村の自慢(グループ協議)。 [時間外学習]自分の出身の市町村について、調べておくこと。
4	渋沢栄一の生涯	渋沢栄一の生涯、その功績と社会に与えた影響、彼を育んだ郷土埼玉県を考える。 [時間外学習]渋沢栄一の功績等について、調べておくこと。
5	荻野吟子や県の偉人たち	荻野吟子が果たした役割について考える。埼玉県のその他の偉人を紹介する。 [時間外学習]荻野吟子の功績等について、調べておくこと。
6	県の農産物、食文化	県内の農産物、伝統野菜とその歴史を学び、埼玉県の食文化を理解する。 [時間外学習]県内の有名な農産物等について、調べておくこと。
7	県の郷土料理、産業、鉄道	県内の郷土料理、産業、鉄道を学び、その成り立ちや文化を理解する。 [時間外学習]県内の郷土料理について、調べておくこと。
8	埼玉県の未来を考える	産業、観光、県民気質、埼玉県の未来についてSDGsの実現を踏まえ考察する(グループ協議)。最終レポートについて情報交換する。[発表学修]
9	/	/
10	/	/
11	/	/
12	/	/
13	/	/
14	/	/
15	/	/

《教養科目》

科目名	英語				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	演習	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		1-1 教養 4-4 態度・志向性			

《授業の概要》

この授業では、英語 で習得した基礎学力をベースに、応用力を身につけることを目的とします。「読む/書く/聞く/話す」の4つの技能を高め、テキストや資料を用いて実践的な英語力を養います。

《テキスト》

Mark Thompson / 谷岡敏博 編著「Say it Right in English
ネイティブが気になる日本人の英語」英宝社 2016年

《参考図書》

講談社インターナショナル(株)編著「これを英語で言えますか？
学校で教えてくれない身近な英単語」講談社インターナショナル(株) 1999年

《授業の到達目標》

- 1)英会話に関して基礎レベルから応用レベルへステップアップすることができる。
- 2)実践的なコミュニケーション能力を養うことができる。
- 3)音読やシャドウイングで英語力を総合的に高められる。
- 4)諸外国の文化や生活について関心を高めることができる。

《授業時間外学習》

確かな英語力を身に付けるために、以下のことを心掛けましょう。1) 日頃からCDを聞き、自然な速さの英語に慣れましょう。2) 知らない単語・熟語は、辞書で確認しましょう。3) 「読む/書く/聞く/話す」活動を繰り返し行いましょう。4) 授業内容の予習、復習をしましょう。本授業では60時間の授業時間外学習が必要である。

《成績評価の方法》

2回の小テスト (60%)、プレゼンテーション (30%)、課題など(10%) 総合評価60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

小テストを添削して返却します。また、授業内で行うプレゼンテーションに関して、フィードバックを行います。辞書を持参すること。参考資料を授業時に随時配布します。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	Unit1 Mansion	(授業内容) 英会話(自己紹介)、内容理解・音読 (授業準備) Unit1の本文と単語の意味を調べる。
2	Unit1 Mansion	(授業内容) be動詞、会話練習 (授業準備) Unit1の練習問題を解く。
3	Unit2 Repeater	(授業内容) 内容理解・音読 (授業準備) Unit2の本文と単語の意味を調べる。
4	Unit2 Repeater	(授業内容) 動詞 (現在)、会話練習 (授業準備) Unit2の練習問題を解く。
5	Unit3 Talent	(授業内容) 内容理解・音読 (授業準備) Unit3の本文と単語の意味を調べる。
6	Unit3 Talent	(授業内容) 動詞 (過去、未来)、会話練習 (授業準備) Unit3の練習問題を解く。
7	Unit1-Unit3のまとめ	(授業内容) Unit1-3の重要項目確認、小テスト (授業準備) 教科書・ノートの重要項目整理
8	Unit4 Service	(授業内容) 内容理解・音読 (授業準備) Unit4の本文と単語の意味を調べる。
9	Unit4 Service	(授業内容) 助動詞、会話練習 (授業準備) Unit4の練習問題を解く。
10	Unit5 OL & Businessman	(授業内容) 内容理解・音読 (授業準備) Unit5の本文と単語の意味を調べる。
11	Unit5 OL & Businessman	(授業内容) 進行形 (授業準備) Unit5の練習問題を解く。
12	Unit6 Challenge	(授業内容) 内容理解・音読 (授業準備) Unit6の本文と単語の意味を調べる。
13	Unit6 Challenge	(授業内容) 受動態、会話練習 (授業準備) Unit6の練習問題を解く。
14	Unit4-6のまとめ	(授業内容) Unit4-6の重要項目確認、小テスト、予備発表 (授業準備) 教科書・ノートの重要項目整理、プレゼンテーション準備
15	プレゼンテーション	(授業内容) 課題の発表 (授業準備) プレゼンテーションの準備